

(博士前期課程) 化学・環境・生命工学専攻【生命工学コース】 アド ミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

最新の生命科学・医工学の知見を基盤にし、応用化学や環境工学における要素技術を理解しながら、バイオ、健康、医療、食品などの分野で活躍できるよう教育を行う。その中では、学士課程教育の中で培った人間力豊かな技術者としての能力をさらに高めていくことになる。

<求める人物像>

- 専攻および生命工学コースの教育目標を理解し、その実現に対して努力できる人
- 生命科学や医工学にかかわる技術に対する理解をさらに深めようとする意欲をもつ人
- 化学・環境・生命工学専攻が包含する幅広い技術を融合的に活用し、人類が直面する多方面にわたる課題に立ち向かう意欲を持った人
- 人間的な成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人

入学前に学修しておくことが期待される内容

生命工学において必要とされる数学、自然科学に関する知識、専門分野の知識を身に付け、それらを応用し、多面的に物事をとらえることを養っておくことが重要となる。また、生命工学の学問的知識と技術を活用し、課題解決に向けて継続して取り組み、その内容を論理的に記述し、口頭発表や討議できることが必要である。

学内進学選考

学士課程のキャリア形成の基礎、工学の基礎、生命工学の専門科目の全てを総合して、特に優れた成績を修めたことが必要である。また、明確な生命工学コースへの志向、勉学意欲、研究内容に関する発表を面接試問で評価する。

一般入試

生命工学の基礎科目と専門科目の筆記試験、英語[TOEIC (オンライン受験による点数は受け付けない。)]の得点]、研究内容に関する面接試問、の総合点で評価する。

社会人入試

面接試問では社会人としての経験と勉学意欲、生命工学分野の基礎学力、研究内容に関する発表について評価する。

外国人留学生入試

生命工学の基礎科目と英語の筆記試験、研究内容に関する面接試問、の総合点で評価する。